

横浜高等工業学校 応援歌第四

- 一. 大岡の野に吹き荒ぶ 嵐に散るや花吹雪
過ぎてぞ時は初夏の クローバの香にさしそへば
黙示の声をさとりうる 自由の園の気は高し
- 二. 日はうららかに風なぎて 金港の波和らぎて
千鳥の夢は深くとも 弘陵健児の若き血は
遠き望みを仰ぎ見て 世々に光を放つなり
- 三. 緑樹の蔭のささやきに 応えて響く小波の
何を歌うて祝うらん 聞け弘陵の健男子
宴のむしろ高らかに 祝歌唱いし去年の日を
- 四. 誓いて来たる一年の 見よ健斗の夜は明けて
烈火の時は今熟す 立たずや健児時ぞ今
鍛えし腕に剣とりて 栄ある戦たたかえや